

同好会報告

囲碁同好会

囲碁の別称に「爛柯(らんが)」というのがあります。

昔、樵(きこり)が山に入していくと仙人が囲碁を打っていたので、ずっとその様子を見ていきました。ふと気が付くと、斧の柄(柯)が腐っていた(爛)という中国の故事からこの別称が生まれました。

それだけ囲碁の魅力に取りつかれると時間を忘れさせ、人を夢中にさせます。囲碁を打つ人は柄が腐るとまではいかないものの、食事を取るのも忘れ没頭することができます。

囲碁は単純には勝ち負けを争うものですが、その着手には無数といえるほどの変化があり、一瞬にして逆転することも多々あり、懸命に考えた着手の結果なので、勝っては喜び負けて悔しい思いをします。

また、囲碁には、4,000年の歴史があり世界71カ国5,000万人、日本では610万人が囲碁人口といわれています。老若男女を問わず多くの人の交流の手段となり絆がひろがります。

さらには、ボケの予防、リハビリについても囲碁をやることにより顕著な効能があるとされています。これは囲碁が右脳を使ったゲームであるからと言われています

右脳とは感性をつかさどり、左脳は論理や言語をつかさどる脳で、右脳は使えば使うほど発達し、左脳は年齢と共に衰えていきます。囲碁で右脳を鍛えれば、左脳の衰えをカバーできるからといわれています。

東京秋工会囲碁同好会は、偶数月の第3土曜日13時から、東京駅八重洲南口前の住友生命ビル地下一階「いすみ囲碁ジャパン」で定例碁会を開催しております。

昨年から今年にかけて新しく3名の参加者があり総勢22名の同好会となりました。



毎回会場に到着次第なるべく棋力の近い人同士任意での対局を始め、各々4局以上を目標にし1位から3位までの入賞を争います。前回までの勝敗に応じて規定のポイントで段級位が変動する制度を採用しており、段級位の境目の人はとくに力が入っての対局となります。

熱戦のあとは地下で直結している八重洲地下街の居酒屋で表彰式・反省会を行っております。

昨年2代目同好会代表の小野鐵雄氏(S38C)から赤川が代表を引き継ぎ3代目代表となりました。

多くの方が会員になり、楽しく囲碁を通じて交流することを期待しております。

囲碁同好会

代表 赤川 均 (昭和41年電気科卒)

囲碁同好会への連絡は、

東京秋工会HP <<http://akiko-tokyo-doso.main.jp/>> 内 東京秋工会宛メールにてお願ひいたします。

◆記事

赤川 均

Restaurante ASKA
ラーメン あすか
ぎょうざ あすか
O único especializado em Lamen.
Venha experimentar!



R. Galvão Bueno, 466
Liberdade São Paulo - SP
Tel/Fax: 3277-9682
Aberto de 3^a a Domingo e feriados
das 11:00 às 14:00 e das 18:00 às 22:00
Estacionamento: R. Galvão Bueno, 538



伊藤 武 (昭和36年 電気科卒)